

6月定例会概要

議員定数 現行17名を16名に

本年11月の一般選挙から適用

平成22年6月定例会は、6月7日から6月23日までの17日間の会期で行われました。今定例会では、平成22年度一般会計補正予算(総額1億7816万円の増額)、特別会計・事業会計補正予算(6646万円の増額)の各予算案3件、条例改正案6件、専決処分事項の承認15件の計24議案が市長から提出されました。

14日から16日にかけての一般質問には14名の議員が登壇し、17日、18日には総務・産業建設・社会文教委員会付託された議案について審議しました。

最終日23日には、「飯山市議会議員定数条例の一部を改正する条例」が議員から提案され、提出された議案については、すべて原案のとおり可決・承認されました。また、

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについては適任と認めました。

請願3件の審査結果は趣旨採択、陳情3件の審査結果については、2件を不採択、1件を継続審査としました。

議員提案の「飯山市議会議員定数条例の一部を改正する条例」は、現行17名の議員定数を16名とする議案で、採決の結果、賛成多数で可決されました。本年11月の市議会議員選挙より適用されます。

この議案については、昨年12月に議会改革検討委員会を立ち上げ、他市の状況等を参考に検討を重ねてまいりました。また、常任委員会の構成等については、次の定例会に向け現在も検討を重ねております。

委員会審査

6月17日・18日各委員会において審査が行われました。

総務委員会

当委員会に付託されました議案は、平成22年度一般会計補正予算の関係部分、特別会計予算案、条例案2件、事件案3件の計7議案でした。審査結果は全議案すべて全員一致で原案のとおり可決又は承認すべきものと決しました。

陳情7号「長野県地方税共同化に関し県に意見書を提出することを求める陳情」については、慎重審査のうえ採決の結果、不採択とすべきものと決しました。なお、審査の中では、現在の状況で判断することは困難であるとの意見がありました。

産業建設委員会

当委員会に付託されました議案は、平成22年度一般会計補正予算案の関係部分、水道事業会計補正予算案、条例案2件、事件案7件の計11件でした。審査結果は全議案すべて全員一致で原案のとおり可決または承認すべきものと決しました。

陳情第8号「安心して住める「悠久のふるさと木島」をめざす陳情」の審査結果につきましては、陳情項目2、3については、堤防補強を含めての河川改良の要望で、市としても国・県へ強く要望している事項であり、添付された署名2、715名分の陳情趣旨は理解できる。しかし陳情項目1については、西大滝ダムと洪水の関係については、科学的に証明されていないが、西大滝ダムの改修については検討の余地がある。ダムがあるから水害になったとの因果関係は、はっきりしていない。昨年9月に西大滝ダムのゲート開放時の千曲川水位状況を見たが、上流へのダムの影響は考えにくいなどの意見があり、

採決の結果、賛成少数で不採択すべきものと決しました。

なお、今定例会において当市議会が提出をする「千曲川総合治水対策の推進に関する意見書」に、陳情項目3の「千曲川の増水による樽川の逆流に対応できる堤防の改修強化」を追加すべきとの意見がありました。

社会文教委員会

当委員会に付託されました議案は、平成22年度一般会計補正予算の関係部分、条例案2件、事件案7件の合計10議案でした。審査結果は、全議案すべて全員一致で原案のとおり可決または承認すべきものと決しました。審査の中では、検診による病気の早期発見は医療費の削減につながる重要な施策である。市内各地区で実施されている検診には多くの方が受診されているが、検診の会場が遠く、受けたくても受けられない方もいる。より多くの方が、検診を受けやすい体制づくりに取り組むべきとの意見が出されました。

請願第1号「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願、

請願第2号「30人規模学級の早期実現や複式学級の編制基準の改善、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願」、請願第3号「長野県独自の30人規模学級の中学校全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書提出に関する請願」については、それぞれの趣旨については理解できるとの意見が出され全員一致で趣旨採択と決しました。

陳情第9号「子宮頸がん予防ワクチン接種の公費負担助成を求める陳情」については、希望者が受けられる体制づくりは必要という意見が出された一方、まだ、ワクチンの安全性が充分理解されていないこと、接種の実施について地元の医療機関に十分な対応が無いとの意見のほか、家庭や学校で子宮頸がんについて教育することや、自ら検診を受けることをもっと周知することなどが、まず重要であるという意見が出され、全員一致で継続審査と決しました。

一般質問

6月14日から16日には、14名の議員から市政に対する一般質問が行われました。

※内容は要約して掲載します。

回遊性のあるまちづくりの推進について

◇人形館について

【質問】四月にオープンした寺町交流館(人形館)は、大変な盛況で飯山の宣伝に凄いインパクトを与えてくれている。しかし、城山周辺の駐車場との往復だけで、街なかにある観光資源との結びつけが出来ていないとの意見が多いが、

【答弁】新幹線開業を目指し第二次アクションプランを作成した。今後は市民の皆さんの意見を伺い回遊性への取り組みを推進させる。まず、重点地域の城山人形館、寺まちコースをモデル的にスター



賑わう人形館

トさせた。今後は街なかにある資源に磨きをかけて歩く街づくりを推進させたい。

◇入札参加業者の選定について

【質問】市が発注する建設工事や備品購入等の入札について、地元企業が一社も参加しない案件も散見される。資格や技術力の問題であつたら、地元業者とJVを組ませ地元企業を育成することも大切と思う。入札業者選定の基準と地元企業の基準は。



山崎一郎議員

【答弁】入札制度においては、一般競争入札が原則になつていますが、飯山では指名競争入札をやっている。指名の方法は、基本的には市内でできる事業については、市内業者を指名しているが、特殊な事業や備品等については市外業者を指名することもある。技術力等の問題については、できるだけ市内業者にも努力して欲しい。地元企業の基準については、市内に事業所がある企業としている。今後は、価格だけで落札業者を決めるのではなく、総合評価制度や、最低制限価格制度の導入も検討している。

発行・飯山市議会

編集：市議会だより
編集委員会

〒389-2292
長野県飯山市大字飯山1110-1
電話：0269-62-3111
FAX：0269-62-0005

インターネットホームページアドレス
<http://www.city.iiyama.nagano.jp/gikai/>
E-mail: gikai@city.iiyama.nagano.jp